

子武野宗瓦の子孫尾州に有とぞ加州に小堀家金森家有此類猶ありぬべし其人其道に堪能ならば家と稱すとも可なるべし  
 立花家絶坊は室町家治世より連綿して今に花の家本たり其餘諸藝の家もとみなおほやけに有茶家に限りて其沙汰なきは居士○休千ことありて後織田常真公織田有樂翁細川三齋翁等の諸歴々就中古田織部小堀遠州片桐石州等つゝいて公上の御師範たりされば家本の沙汰あらぬ成べし

〔茶傳集附録〕三齋翁の門下に茶道執心の輩多といへども中にも一尾徹齋其一にして秀達也或時翁物語に茶は流有てなきもの也予休門下にして休の旨要を其儘守といへども人皆利休流とは不云して三齋流といへり武門之家に生れ茶道に名を残す事有まじ休より傳る所を徹齋に傳へ翁の覺書不殘徹齋にゆづり徹齋又三齋の物語を始其旨要を筆記ス今々一尾流にして數寄の妙所に至るべしと深々物語有

〔老人雜話〕茶の會にノ觀流と云あり是は上京坂本屋として茶の會を好む者ありをどけたる茶の會を出す初め號を如夢觀と云後に改めてノ觀と云一溪故道三の姪婿也ノの字人の字の偏ばかり也人に及ばぬと云意とぞ宗易より少し後也

〔茶人大系譜〕古田織部流祖織部正諱重勝從五位下織部正領一萬石性嗜茶事能識鑿古器中略利休之後同有樂稱宗匠以茶事爲台徳君徳川秀忠師範曾見春屋國師爲參學弟  
子扁所居曰印齋元和元年六月十一日有罪自殺○中略

慈胤法親王梶井宮後陽成帝皇子二品天台座主號常修院宮

近家家熙公中略號豫樂院

應司輔信公號有隣軒受茶法於滋胤親王後患眼疾而愈嗜茶事

近衛信尋公中略號應山○中略

小堀政一從五位下遠江守號孤蓬庵宗甫爲遠州茶流之祖